

美幌版総合戦略の効果検証方法等について（創生推進委員用）

平成29年7月11日

外部有識者で構成されている美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員におかれましては、総合戦略の着実な推進のために事業の効果検証や改善等に向けたご意見・ご提案をいただいているところです。つきましては、以下の様式に沿って検証等を進めていきますので、ご協力をお願いします。

当該様式は、内閣府が通知した「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の効果検証について（平成28年6月17日付け事務連絡）」の様式を準用しています。

記

1 美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告

検証に係る様式については、「美幌版総合戦略に係る事業実施結果報告（各事業における実績額及び事業効果等）」を使用します。

平成28年度に実施された事業の検証を行います。

国の地方創生関連交付金を活用した事業（検証済み）及び29年度以降に実施する事業（未実施の事業）については、一覧から削除しています。（そのため、ナンバーが揃っていません。）

【検証に係る各項目の留意事項】

(1) ⑨以外について

事業を実施した担当グループが記載しています。

(2) ⑤（本事業終了後における実績値）の「事業効果」について

事業を実施した担当グループが記載し、「事業効果」について自己診断を行います。

「事業効果」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

- | |
|----------------------------|
| ①指標値を達成し事業効果があった |
| ②指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める） |
| ③指標値を達成できず事業効果はなかった |

(3) ⑨（外部有識者からの評価）について

創生推進委員が評価していただく箇所です。

記載してある内容を確認していただき、それを踏まえて評価をお願いします。

「事業の評価」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

※前回の評価から項目を変更し、⑤と同じ選択内容になっています。

- | |
|----------------------------|
| ①指標値を達成し事業効果があった |
| ②指標値を下回ったものの事業効果があった（見込める） |
| ③指標値を達成できず事業効果はなかった |

「外部有識者からの意見」は、自由記載になっています。「有効であった」場合は良かった点を、「有効とは言えなかった」場合は何が良くなかったのか、何が原因でどのような改善策が考えられるかをご意見願います。

(4) ⑩ (実績値を踏まえた事業の今後について) について

現在記入されているものは、事業を実施した担当グループによる評価です。

実績に対する評価を踏まえた上で、当該⑩の項目を変更することが必要であれば、その旨ご意見願います。

「今後の方針」は選択方式となっており、以下の選択肢の中から選ぶ方式です。

- ①事業内容を見直し発展させる
- ②事業の継続
- ③予定通り事業終了
- ④総合戦略事業からの見直し

「今後の方針の理由」は、担当グループが記載しています。方針についてこうした方が良いとかこうした考えを入れるべきなどのご意見があれば、ご指摘願います。

2 変更事項

今回の検証に当たり、庁内担当部署において精査を行ったところ、以前より効果検証をしていた委員から見て、いくつか変更している事項があります。

①基本目標1「1 新規就農者確保・育成等総合支援事業」

当該事業は、大きく分けて3つの事業をみらい農業センターにおいてワンストップで行っていたため、国の交付金を活用する際、当該事業名一つにまとめた経緯があります。

しかし、交付金は27年度単年度のみであったこと、そして3つの事業内容が混ざっていて分かりにくいということで、担当部署と協議し、3つに分けました。

より分かりやすい表記に変更しただけですので、分割により指標は追加したものの、内容及び金額に変更はありません。

②基本戦略1「16 美幌町商店街活性化事業」

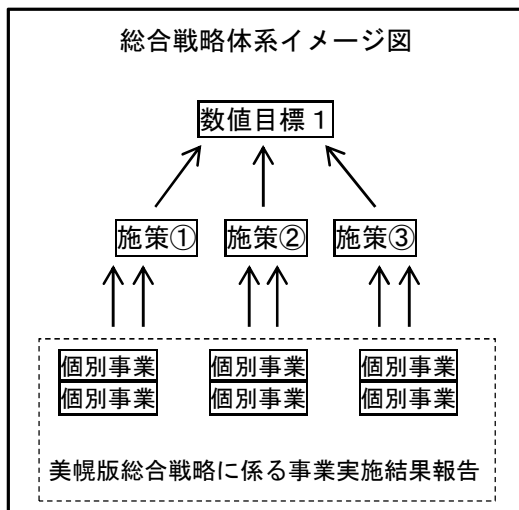
当初の指標値を「4」として説明していましたが、「5」が正しい指標値です。

③基本戦略4「9 ICT教育環境整備事業」

当初の指標値を「4」として説明していましたが、「3」が正しい指標値です。

3 まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI

今回初めて作成した表です。



美幌版総合戦略の各基本目標及び各施策ごとに設定されている目標値の一覧です。

上記1の各個別事業と異なり、一つの事業に対して一つの指標値というのではなく、イメージ図にあるように、個別事業の上にある大きな目標を設定しています。

そのため、総合戦略の進捗状況を図るものとして位置付ける予定です。

この数値を参考に、進捗が良くない施策、目標について、改めて個別事業を考察していくといった活用をしていく予定です。